

ロータリー財団の管理委員会は、未来の夢計画の標語、使命声明、優先事項を採択しました。	
ロータリー財団の標語	世界でよいことをしよう
ロータリー財団の使命	ロータリアンが、健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにすること。
6つの重点分野 (優先事項)	・平和と紛争予防／紛争解決 ・疾病予防と治療 ・母子の健康 ・水と衛生設備 ・基礎的教育と識字率向上 ・経済と地域社会の発展

ロータリー財団の補助金制度が新しくなります。	
パイロット地区による試行期間	2010-11年度から開始し、3年間試行します。
新補助金制度のスタート	2013-14年度から全世界で完全実施されます。
主たる目的	・手続きを簡素化し、地域ニーズに迅速に対応する。 ・世界の優先的ニーズに焦点を絞り、持続可能で大規模なプロジェクトを推進する。 ・奉仕の成果をもっと確実なものにする。

現行の補助金と新補助金の対比例

(当地区でよく利用されているものに付いてのみ簡単に説明)

現 行 補 助 金				新 補 助 金		
補助金の種類	補助金額	概 要		補助金の種類	補助金額	概 要
地 区 補 助 金	DDFの20% 〔2650地区の場合、年度平均約8万ドルです。〕	・ 人道的プロジェクトであること。 ・ 教育的プロジェクトには使用出来ない。 ・ 建物の建築・改築は不適格 ・ 現金の寄付は不適格 ・ 海外では、ロータリーのない国でしか使えない。(ベトナム、カンボジア、ラオスぐらいでしか使えない) ・ 報告書等は、財団によって厳しくチェックされる。	➡	新 地 区 補 助 金	DDFの50% 〔2650地区の場合 2010-11年度では 約27万ドルとなります。〕	・ 人道的でも教育的でもどちらのプロジェクトにも使えます。 ・ 建物の改築に使えます。(国内やロータリーのある国) ・ 用途を指定して現金を寄付することが出来る。 ・ 海外での奉仕は、ロータリーのある国でも、ない国でも実施出来る。 ・ 報告書等は、地区で責任をもって管理することになる。財団への提出は不要。
国 際 親 善 奨 学 金	24,000ドル/人 (2009-10年度)	・ いろいろな分野を専攻できる。 ・ 期間は、1学年度とマルチ・イヤー(2年)がある。 ・ 毎年10月1日までに申請書を日本事務局財団室に提出する。 ・ 12月25日までに指定校が通知される。 ・ TOEFLの点数ハードルが高い。	➡	新 地 区 補 助 金	補助額に、上限、下限なし	・ 音楽や文学、歴史等文化的な分野に関する奨学金で、海外留学でも地元の大学に行く場合でも可です。 ・ 期間は、単年度が基本です。 ・ 選考は、地区が基準を定めて行う。
				グローバル補助金	奨学金の金額 30,000ドル/人以上 〔内訳 DDF50% WF50%〕	・ 財団の6つの重点分野に関するものを専攻する場合の奨学金。 ・ 期間は1年から4年です。 ・ 申請、選考は現行と同じく、財団により行われる。
G . S . E	チームの往復旅費が支給される。	・ 専門職務と事業に従事する人のチームを4週間から6週間にわたり交換する。 ・ チーム・メンバー4人とロータリアンのチーム・リーダーが、G.S.Eチームを構成する。	➡	新 地 区 補 助 金	補助額に、上限、下限なし	・ 文化的な分野に関する職業研修チームの派遣 ・ 期間の設定はありません。 ・ チームの人数は3名以上、上限なしです。
				グローバル補助金	30,000ドル/件以上 〔内訳 DDF50% WF50%〕	・ 財団の6つの重点分野に関する職業研修チームの派遣 ・ 期間の設定はありません。 ・ チームの人数は3名以上、上限なしです。
マッチング・グラント	5,000ドル～25,000ドルは通常審査 25,001ドル～150,000ドルは競争制	・ 2カ国以上のロータリークラブあるいは地区が協力して、人道的プロジェクトを実施する。 ・ 申請期間7月1日～3月31日(通常審査) ・ 競争制の申請締切、8月1日までと12月15日までの2回	➡	グローバル補助金	WFのマッチング補助額 15,000ドル～200,000ドル	・ 2カ国以上のロータリークラブあるいは地区が協力して、財団の6つの重点分野に関するプロジェクトを実施する。 ・ 一年を通じていつでも申請できる。 ・ 計画年度、実施年度に関わりなく申請書の提出可能。

～ 財団プログラムは、**現行**と**新**を一覧に致しますと次の様になります。～

現行

財団プログラム概要

教育的プログラム	・ 国際親善奨学金	DDF			
	・ 世界平和フェローシップ (国際問題研究のためのロータリー・センター)	WF			
	・ 大学教員のための補助金	DDF			
	・ 研究グループ交換 (GSE)	WF (DDF)			
	・ ロータリー平和および紛争解決研究 (2006年7月1日より始まる3年間の試験的プログラム)	WF			
人道的プログラム	・ 地区補助金 (DDFの20%まで) 必須条件 「地域社会のためになること」 「ロータリアンが参加し、汗を流す活動をする事」 「人道的、短期プロジェクトであること」	DDF			
	・ マッチング・グラント (国際パートナー 必要)	WF (DDF)			
	<table border="1"><tr><td rowspan="2">補 助 率</td><td>DDF使用に付いては同額補助</td></tr><tr><td>現金寄付に付いては半額補助</td></tr></table>	補 助 率	DDF使用に付いては同額補助	現金寄付に付いては半額補助	
	補 助 率		DDF使用に付いては同額補助		
		現金寄付に付いては半額補助			
<table border="1"><tr><td>補 助 額</td><td>1件当り5,000ドル以上、150,000ドル以内</td></tr></table> (25,001ドル以上の承認は競争制)	補 助 額	1件当り5,000ドル以上、150,000ドル以内			
補 助 額	1件当り5,000ドル以上、150,000ドル以内				
・ 3-H補助金 (10万ドル～30万ドル) 保健、飢餓追放、および人間尊重のプロジェクトのための補助金 <table border="1"><tr><td>提唱者10% 寄付金納付 (寄付金納付にDDF使用可)</td></tr></table>	提唱者10% 寄付金納付 (寄付金納付にDDF使用可)	WF (DDF)			
提唱者10% 寄付金納付 (寄付金納付にDDF使用可)					
・ ボランティア奉仕活動補助金	WF				
・ 災 害 救 援 〔 特定の災害には、災害復興口座を設ける。 そして1,000ドル以上のDDFを寄贈出来る。 〕	DDF				
ポリオ・プラスプログラム	・ ポリオ・プラス 〔 ポリオと共にハシカ、ジフテリア、結核、百日咳、破傷風の五つをプラスして同時追放を目的としている。 〕				
	・ ポリオ・プラス・パートナー 〔 ポリオ発生地域で活動するロータリアンを援助し、①全国予防接種日のための地域社会動員、②ポリオ・ウイルス免疫所への援助、③ポリオ担当役員・疫病専門医への援助活動の三つのニーズに目標をおき、ポリオの撲滅に必要な用具や補給品の費用やその他活動費用等を支援することを目的としている。 〕				

新

財団プログラム概要

新地区補助金プログラム	●地区に一括して授与される補助金 DDFの50%以内		〈事業例〉 ・音楽や文学・歴史等に関する奨学金。 (海外留学でも地元に行く場合でも可) ・経済的に困っている学生への学費の支援 ・使途指定で現金贈与が出来る。 ・奉仕研修グループ派遣(期間、人数ともに自由) ・職業訓練の支援 ・災害救援 ・海外のクラブとの協力事業。 ・地元地域社会での奉仕事業。 ・海外での奉仕事業(ロータリーのある国でもない国でも可) ・ロータリーのある国では、 <u>建物、施設の改築も可。</u> (<u>地元、国内での建物、施設の改築も可</u>) ・その他、社会的ニーズの強い奉仕事業	
	グローバル補助金プログラム	クラブ & 地区計画補助金	補助金の下限 \$ 15,000.～上限 \$ 200,000. (\$ 10万以上は、管理委員会の承認が必要) ●クラブ・地区が6つの重点分野に関するプロジェクトを立案実施するもの。 現金やDDFの提唱者寄付にWFがマッチングされプロジェクトが実施される。 DDFに対しては1:1、現金に対しては1/2のWFが交付される	グローバル補助金は、次の6種類の重点分野に活用する。 ・平和と紛争予防 ／紛争解決 ・疾病予防と治療 ・母子の健康 ・水と衛生設備 ・基礎的教育と識字率向上 ・経済と地域社会の発展
パッケージ・グラント		補助金の下限 \$ 50,000.～上限は相談次第 ●財団が立案し、協同組織と合同で、長期的で大規模なプロジェクトを実施するもの。 WFと協同組織からの資金で実施 (地区は、DDFを使って、スポンサーとなることができる。)	〈事業例〉 ・6種類の重点分野に関する事業 (※)協同組織とは… ・財団本部の事務レベルでさがします。 ・100万ドルレベル以上の資金を保持していること ・専門技術団体等も視野 ・世界平和フェローシップ	
ロータリー・センター		補助金の下限 \$ 50,000.～上限 \$ 120,000. WF100%で実施		
ポリオ・プラスプログラム		補助金の下限、上限ともなし ポリオ・プラス基金100%で実施		・ポリオ・プラス 〔ポリオと共にハシカ、ジフテリア、結核、百日咳、破傷風の五つをプラスして同時追放を目的としている。〕 ・ポリオ・プラス・パートナー 〔ポリオ発生地域で活動するロータリアンを援助し、 ①全国予防接種日のための地域社会動員、 ②ポリオ・ウイルス免疫所への援助、 ③ポリオ担当役員・疫病専門医への援助活動 の三つのニーズに目標をおき、ポリオの撲滅に必要な用具や補給品の費用やその他活動費用等を支援することを目的としている。〕